



葛葉荘で城下子寄席 笑いの渦に包まれる

ジョークス
城下子寄席が11月11日、養護老人ホーム葛葉荘の食堂で開催され、多くの住民らが訪れました。城内小路、下町、田子の3自治会の名前を一字ずつ組み合わせて名付けられた「城下子寄席」。事業所からの協賛金や町の補助金などを活用し、今回で10回目の開催になりました。

真打の桂小文治さんをはじめ昔昔亭喜太郎さん、春風亭草市さんによる古典落語や創作落語のほか、ひろきさんによるウクレレ漫談などが行われ、会場は終始、笑いの渦に包まれました。

会場を埋め尽くすほどの地区住民らが訪れて開催された城下子寄席の様子



小学生と交流深め 葛保でやきいも会

11月1日、葛巻保育園（深澤口久美子園長・園児80人）では、葛巻小の1年生24人を招待してやきいも会を開催しました。

10月に園児が収穫したサツマイモが焼かれる間、一緒に読み聞かせを楽しんだり歌の発表などで交流を深めました。その後、園庭に移動し、アツアツのやきいもを口に運んだ子どもたちは「おいしい!」と笑顔でほお張っていました。四日市倅汰くん(5歳)は「絵本を見るのが楽しかった。自分でとったイモもおいしかった」と感想を話してくれました。

やきいもをほお張り秋の恵みを感じる子どもたち

老若男女スポーツ交流会 田野自治会で交流深める

田野自治会（馬淵和彦会長）の老若男女スポーツ交流会は10月29日、旧田野小学校体育館で行われ、地区住民ら約30人が集まりました。

馬淵会長は「秋の収穫も終わった時期ですので、軽スポーツや食事を通して交流を深めましょう」とあいさつ。参加者らは、スカットボールとスマイルゲートボーリング、シャッフルゴルフの3種類の軽スポーツを楽しみました。

競技後は地区の皆さんが腕によりをかけて作った料理で心ゆくまで交流を深めました。



あいにくの雨でグラウンドが使えない中、体育館でスカットボールを楽しむ参加者の皆さん

冬部で交通安全教室 歩道の歩き方を確認

11月9日、町交通安全母の会（神谷ミツ子会長）主催の子どもと高齢者の交通安全教室が冬部児童館で行われ、児童館に通う子どもたちや地域のお年寄りなど約50人が参加しました。

教室では、岩手県警察の交通安全オリジナルキャラクターの「トラッキー」が登場し、子どもたちと一緒に横断歩道の正しい渡り方を学んだり、高齢者が体験しながら歩道を歩くときの注意点を確認できるシミュレーターなどを使って、交通安全への意識を高めました。



横断歩道の正しい渡り方を確認する参加者の皆さん



除雪機械の出動式 作業の安全を願う

除雪機械出動式は11月15日、除雪機械格納庫前でわれ、運転手ら約20人が出席しました。

鈴木町長は「健康管理に気を付け、事故やケガのないように最善の注意を払ってください。冬の活躍を期待します」と訓示。鈴木町長から除雪車の鍵が運転手に引き渡され、エンジン始動点検などを行い除雪機械に異常がないことを確認しました。乗車体験に訪れた園児たちから「お仕事がんばってください」とプレゼントを手渡されると運転手らは笑みをこぼしていました。

鈴木町長から訓示を受ける運転手の皆さん①と手作りのプレゼントを手渡す園児②



児童たちと地域住民の皆さんが協力して、郷土料理のひつまみを作る様子

五小でふるさと交流会 郷土料理で世代間交流

11月22日、五日市小学校（森保茂校長・児童22人）でふるさと交流会が開催され、地域住民ら合わせて約80人が参加しました。

児童らは住民の皆さんに教えてもらいながら、同校で収穫した小麦や小豆をふんだんに使用したへっちょこ団子やひつまみなどの郷土料理作りで交流を深めました。

閉会行事では、恵津森大貴さん（同校6年）が「皆さんの協力おいしい料理をつくることができました」と感謝の言葉を述べました。